

令和4年度 第3回学校運営協議会（ホームページ用）

今年度第3回目の学校運営協議会を下記の日程で開催しました。

- 1 日時 令和5年1月31日（火）午後6時30分～午後7時55分
- 2 運営協議会長あいさつ
 - ・ 協議題への慎重審議をおねがいしたい。
- 3 学校長あいさつ
 - ・ 学校は今日で一月が終わった。今年度も残りあとわずかとなり、しっかりと成長が成長できるよう学習・生活指導を行っていききたい。
 - ・ コロナ禍の影響で授業進度を心配していたが、今のところ進度については心配はいらないようだ。今後も未履修がないように配慮していききたい。
 - ・ 野菜等の値段の高騰により昨年後半より、市より給食費の補助金をいただき感謝している。これまで給食費の支出を抑えてきていたが野菜等の値段も落ち着いてきているので、今後も安定した給食を提供していけると考えている。
 - ・ 安定した給食を今のところ行えているが、野菜を含む様々な材料の値上がりも心配されていることもあるが、4月から値上げを保護者をお願いしなければならない状況なので、2月の全校保護者会で説明し理解と協力を得ていききたい。
- 4 協 議（座長：運営協議会長）
 - (1) 令和4年11月から令和5年1月までの学校運営総括（校長）
 - 【校長より説明後、質疑応答】
 - ※ 質疑応答なし。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症は保護者や児童生徒の協力もあり落ち着いている。今のところインフルエンザはいない。児童生徒は落ち着いた学校生活を送っている。
 - ・ 12月に吹奏楽部アンサンブルコンテストにおいて金賞を受賞し、県大会へ出場した。県大会では上位に行けなかったが、いい演奏ができた満足な生徒の表情だった。
 - ・ 職員1名が休んでいたが、2月1日より校務に復帰するが、4月より産前休暇を取得予定。1日から担任として頑張ってくれることを期待している。
 - ・ 本日、双葉荘の安全委員会に参加した。生徒たちは明るく元気に学校で過ごしていることを話してきた。
 - ・ 本校ではいじめに関するアンケートを定期的の実施しているが、いじめの件数が高学年になるにしたがって減っていく状況で、これも義務教育学校の成果と考えている。
 - (2) 令和4年度学校運営自己評価について
 - 【教頭より説明後、質疑応答】
 - ・ 教職員、児童生徒、保護者、協議会委員より学校評価を行い、評価結果と対応策等について市教育委員会へ報告している。
 - ・ お手元の資料1～4は教職員評価の結果である。学校経営全般、義務教育学校の特性を生かした学校経営は一学期より高評価であった。コロナ禍ではあったが、正常に近い形で学習指導や生活指導を行えたことが高評価につながったと考えている。
 - ・ 行事等が多くなり準備等で忙しかったからか2学期の職員の勤務状況に関する評価

結果は低かった。勤務時間はタイムカードで管理しているが、超過勤務時間は前年より減ってきている。ICT活用等を効果的に利活用してきている成果と考える。今月はゆとりが出てきていると感じているので、今後もゆとりある充実した教育活動を行えるようにしていきたい。

- ・ いじめ防止基本方針に対する評価数値が低くなっている。1学期のいじめ認定数は18件、2学期は24件と増えたが、アンケート回収後にその都度、担任が丁寧に聞き取りを行い対応してきている。いじめがあったと答える傾向が前期児童に多い。例としては、悪口などが多く、その都度その場で担任等が状況を聞き指導し解決していることが多い。いじめに関するアンケートは直近3か月間に関するアンケートなので、そのような結果になっていると考える。これからも子どもたちのちょっとした変化も見逃さずに支援していきたい。
- ・ 児童生徒の清掃活動に関する数値が低いのは、コロナ禍で縦割り清掃ができなかったことがあるのではないかと考えている。本校の良さである縦割り清掃を早く行える環境になればと考えている。
- ・ 学力向上プロジェクトについては、令和3～5年度の3年間を市教育委員会より研究指定を受け、探究型学習について研究を深めてきた。教師自身による一斉授業から子どもたちが互いに教え合いながら学びを深めていくことを大切にしながら授業を行ってきた。そのような指導を行っていくための手立てを工夫しながら取り組んできた。現状はなかなか厳しいが、これからも粘り強く学びを深めるための学習指導を行っていきたい。
- ・ 1～4年生のアンケート結果を分析してみると、「授業で分からないことを友達に聞いている」の割合が低い。5～9年生だと「わからないところをお互いに聞いている」と答えた生徒の割合が増えている。学年が進むにつれ、お互いに学んでいくんだという意識が育っていくのではないかと考えられる。低学年はまだまだ、自分は「ここが分からない」と言えない状況もあると思われる。「ここが分からないんだ」と児童生徒が言い合えるような授業づくりを行っていきたい。
- ・ 自分にはいいところがあると答えた生徒の割合が少ない。他の生徒の良いところを言葉にして伝えることを粘り強く継続して行っていくことを、これからも大切にしていきたい。
- ・ 新庄市が好きだと答えた生徒は多い。地域に出向き体験してきた成果と考える。これからも地域理解につながる授業を大切にしていきたい。

【質疑応答】

- 委員
 - ・ 校内倫理委員会の構成メンバー、開催回数、協議内容についてお聞きしたい。
- 教頭
 - ・ 例えば懇親会の際は飲酒運転をしないこと、帰宅方法について周知したり、確認したりしている。また、パワハラにならないようとか、何かあったら管理職へ伝えること、また、体罰暴力暴言等の根絶に向けた、自己チェックについて研修している。
- 委員
 - ・ 防止抑制につながっているのですね。
- 校長
 - ・ 子どもへの性暴力につながらないよう、子どもたちへの接し方も気をつけるよう

にしている。

- 委員
 - ・ ICTに関して、どれくらい効果があったか。どれくらい活用しているかをお聞きしたい。
- 教頭
 - ・ 高学年は毎日持ち帰って、家庭学習に使っている。授業で扱っているチームスの中に学習で活用したファイルがあるので、それを見たりしながら授業を振り返っているようだ。授業でもパワーポイントを5年生以上は効果的に活用している。自分で、写真等を取り込み発表会資料が作成できるくらいになっている。また、振り返りにも活用し、タブレットに打ち込んで教師が見られるようになっている。あと5分あればというときに、家で学習できるようになっている。
- 委員
 - ・ 家でどんな学習を行ったかもわかるようになっているのかお聞きしたい。
- 教頭
 - ・ ある程度は分かるようになっている。
- 委員
 - ・ Wi-Fi 環境に家庭間の格差はないのかをお聞きしたい。
- 教頭
 - ・ 昨年度、各家庭に状況を聞きながら整備を依頼し、ある程度の環境を整えられたと聞いている。
- 校長
 - ・ 昨年度、整備されていない家庭もあると聞いていたが、今年度、不都合があったとの報告を受けていないので、概ね環境が整備されたと考えている。また、双葉荘も環境を整備してくれたと聞いている。
 - ・ これからは小学校の1年生の時からローマ字をブラインドタッチで入力できるように指導していくよう前期課程職員へ話している。また、ICT担当職員がよいブラインドタッチを身に付けられる無料ソフトを見つけてくれた。それを通して早めにタブレットを有効活用できるように教師の指導力向上を図っていきたい。
- 委員
 - ・ そのタブレットをゲームで遊んでいる子がいる。家庭でも注意していると聞く。また、親戚との話の中で孫がずーっとパソコンでゲームをしていると聞いた。携帯等でゲームができる時代にもなったと感じている。
 - ・ 以前は祖父母参観があったが、今はないので学校生徒の生活の様子をお聞きしたい。
- 委員
 - ・ 義務教育学校になった学年の区切りがなくなり幼さが目立ってきたり、中学生の自覚についても教職員の評価にあった。これを解消させる取り組みについてお聞きしたい。
- 教頭
 - ・ ご心配はあるかと思うが、外に目を向ける活動を大事にしている。7年生の企業訪問を行い、将来に目を向ける指導を行っている。また、8年生では高校訪問を以前に行ったこともある。来年度はもう少し外に目を向けるようにしたい。
- 委員

- ・ 本校の取り組みが明倫学園への道しるべになればと考える。
- 校長
 - ・ 幼さや自覚のなさを感じているのは、職員の意識の違いもあると考えるが、どの学校でも同じことを聞くこともある。高学年にはリーダーとなれるような指導を行って自立を促している。
- 委員
 - ・ 将来の夢をもっていると答えた5～9年生の割合が低いことについてどのような対応をとっているのかお聞きしたい。
- 教頭
 - ・ 職業体験（shin-job）を他校は年1回と聞いているが本校は年2回行っている。6・7年生が一緒になり職業体験をして将来の目標づくりに向けた意識づけを行っている。
- 委員
 - ・ 1～4年生が夢を持っていないのは分かるが、高学年が持ってないのは残念なので、ぜひ夢が持てるような生徒を育ててほしい。
- 委員
 - ・ 読書が好きだと答えた児童生徒が5～9年生に多いが、市立図書館との連携をどのようにしているのかお聞きしたい。
- 教頭
 - ・ 図書担当も頑張っていて、本校図書館に来るようしてくれているが、個人差が大きい。読書に親しむ児童生徒の育成を図っていきたい。
- 委員
 - ・ 市立図書館に勤めている関係で話をすると、移動図書館を行っている。移動バスで訪問し図書を選んでもらっているが、現状はコロナ禍でできていない。
 - ・ タブレットに触れる時間が多くなり読書の時間が減っている傾向は他校でも見られるとお聞きした。紙の本がいいのか電子書籍がいいのかということは一概に難しく、読者の判断によるところが大きい。
- 委員
 - ・ 部活動の地域移行について、学校としての取組はどうするのかお聞きしたい。また、市との連携や、保護者への説明についてもお聞きしたい。
- 校長
 - ・ 保護者へ周知できる状況にいたっていない。周知できる内容があまりなく、全国や県の方針や対応が急に変わったりと、こちらも困惑している。
 - ・ 休日だけでなく平日の部活動についても考えていかなければならない。中体連主催の大会にクラブチームが出場できる。どのような形で本校の生徒が出場できるのかを、今後見極めながら保護者に伝えていきたい。
 - ・ 今のところ2月22日（水）に全校保護者会で伝える予定でいる。現6年生が来年度の部活動をどうするかを判断しかねているようなので、22日に説明会を予定している。市の方針も3月22日（水）、23日（木）に説明会を行うと聞いている。保護者の参加を促していきたい。また、このことは新庄市だけでなく最上地区で考えなければならない状況もあると認識している。
- 委員
 - ・ 働き方改革につなげられるように市の行政を活用しながら協議会としても協力していきたい。

(3) 令和5年度学校経営方針案について

【校長より事前に配付した資料を基に説明後、質疑応答】

※ 質疑応答なし。

- ・ 経営方針は例年とほぼ同じである。市委嘱研究を受けているので、職員が悩む状況も考えたので変更をあまり加えていない。前回協議会の話し合いを受け、貴重な意見を方針に入れていた。
- ・ 大事にしていきたいキーワードを入れている。協議会委員の皆さんからいただいた言葉や思いも入れている。
- ・ 地域との密接な連携として、祖父母参観を来年度やりたいと考えている。地域の方々の連携が増えるようにしていきたい。また、PTOの方々と研修会や講演会を積極的に行っていければとも考える。
- ・ 萩野学園の部活動再編については、令和3年度から考えているが、地域移行等のこともあり、来年度4月に文言を変えることもある。生徒がしっかりと活動できるよう体制を整えていきたい。
- ・ 10月6日(木)に公開研究会を行う予定でいる。市内の学校では午後から休校にして、本校へ教員が集まってくると思われる。また、義務教育学校の公開研究会は県内初になるので、市内だけでなく地区外、県外の方が来ること考えられる。
- ・ 公開研究会時の講演会講師は文部科学省の安彦大臣官房審議官(鮭川村出身)の方の予定している。生徒には公開研究会について始業式で伝えた。みんなのいいところを見てほしいので、みんなで頑張っていこうと伝えた。今からその準備をしている。

(4) 運営協議会委員より

○ 委員

- ・ コロナ禍で子どもたちの地域行事への協力が得られにくくなっている。例えば、祭りに参加できる子供が少なくなっている。自分たちは楽しみにしていたが、保護者の考えもあると思うが、祭りに参加し学ぶこともあると思うので、協力もお願いしたい。祭りを通して社会について学んでほしい。

○ 委員

- ・ 読書離れを心配している。毎月、移動図書で30～50冊借りているとの話を学童に通っている子供から聞いた。他の児童も図書館から借りてきて読んでいる様子が見られる。一生懸命に読む子、読書好きの子が多い。今、ゲームが遊びの中心と聞くが、学童ではゲームの持ち込みを禁止し、友達と遊ぶとか伝承遊びを大切にしている。縄跳び、けん玉、手遊びなど、昔ながらの遊びを楽しんでいる。いじめの問題も心配している。学童の子どもたちは学校で気が張ってきているのか、学童で発散する子もいるが、学校との連携の成果で落ち着いてきている。連携を大切にしていきたい。

○ 委員

- ・ この協議会は学校の現状を知る良い機会だと感じている。放課後子ども教室にも参加しているが楽しそう。これからも連携をとっていきたい。

○ 委員

- ・ アンケートを読んだが、いじめが心配である。昔は喧嘩だったが、いじめはいじめの側の気持ちから弱いからだと思う。今の子どもは自分が弱いからいじめているのではと感じる。友達になろうという言葉がかかることが大切ではないかと考える。
- ・ 職場でもいじめはあると聞く。子どもたちと同じように、いじめる側の気持ち

弱いからと感じる。職場でも仲間との関係づくりが大切ではないか。

- ・ 子どもたちにはタブレットもいいが、外で遊ぶ、運動することを大切にしてほしい。雨では家で過ごす、晴れたときは外で遊ぶなどの切り替えを大切にしてほしい。
- ・ 穀野医院前での過ごし方が気になる。夏場にだらしない格好で座っている子供を見かける。何とかならないかと気にしている。

○ 委員

- ・ 学校から離れてしまうと良くわからないことが多い。コロナ禍でもあり学校に行く機会が減り、校長先生の顔や児童生徒の顔も分からなくなっている。
- ・ 昨年の秋くらいから青色回転灯パトロール車で巡回しているが、あいさつが返ってこない。車で回っているので声が聞かれなくなってきたのかと考える。萩野地区の児童生徒は自分の顔を知ってくれているが、泉田地区では児童生徒へのパトロールの認知度が低いのか挨拶の声も低い。今は、マイクを使ってあいさつをしているので、あいさつの声も大きくなってきていると感じる。あいさつは恥ずかしいという気持ちで児童生徒はいると思うので、こちら側から児童生徒の気持ちになってあいさつをしていくと大きな声で返してくれている。
- ・ 大人になっても声を掛けてくれることがうれしい。これからもパトロールを増やしながら児童生徒を見守っていききたい。先日学校へ不審なFAXが送られてきたときは、3日間巡回した。子どもの見守りをこれからも続けていききたい。

○ 委員

- ・ 子どもたちへの思いにあふれた方々が多いなと感じている。子どもたちから信頼されるカッコいい大人だと思うので、これからもお願いしたい。

○ 委員

- ・ 3年前コロナが県内に発生し、みんなで声を掛け合い子どもたちを見守ってくれることに感謝。先日は子どもたちがけん玉をしている場面を見た。見慣れない私に優しく声を掛けてくれたことが印象的。これからも見守っていききたい。

○ 委員

- ・ これからも学校図書館を通して連携していききたい。先生方が日常業務をこなしながら生徒へ優しく接してくれることに感謝。生徒と向き合うことを大切にしてくれてうれしい。本校への印象として地域防災を通して地域と学校がつながっていることはすごいと感じている。引き渡し訓練や実際に豪雨による避難所になったときに職員が率先して行動していたという行動力のすごさに感心した。
- ・ アンケート結果の数値が低いところの指導を重点的にあたり、子どもたちの自己肯定感が高まる工夫をお願いしたい。職員からの声掛けだけでなく、例えば、自己紹介や友達から他己紹介をしてもらうことも自己肯定感を高めることにつながると思う。
- ・ 協議会委員のつながりの強さを感じる。祖父母参観なども行えるとタブレット活用についても理解を得られるようになればと考える。

○ 委員

- ・ 先生方より保護者が苦勞して動かないと学校が変わらないと聞いた。保護者がしっかりと動けるよう自分も努力していききたい。

○ 委員

- ・ 高評価が多くうれしい。満点を目指して頑張ってもらいたい。

○ 委員

- ・ 協議会の意義を忘れてしまうこともある。校長先生の方針をみんなで評価し支えていくことが大切と考えている。コロナ後にどうしていくかを考えていく時期だと思う。

- 委員
 - ・ 幼児化が話題になったが、大人も幼児化していると感じる。他人との接し方が苦手な大人も見られる。自分に合う人としか接しないような感じが多いので、部活動を通してコミュニティの形成に役立ててほしいので、広く人と接する機会を増やしてほしい。
 - ・ 萩野学園は情熱的に取り組んでくれていることに安心している。これからも任せられると感じた。

(5) その他

- 教頭
 - ・ 昭和地区の方から高速の出入口付近に標識がなく心配。標識設置に向け協議会として何ができるかを考えていただきたい。
- 委員
 - ・ いろいろな弊害を感じている。子どもたちの安全面がこの後どうなるか心配している。国や県に要望しながら、カーブミラー設置に向け努力していきたい。地域の声、協議会の声、学校の声、議会の声などを届けていきたい。高校生も自転車通学で利用している。カーブミラーがあればと感じる。新庄鮭川線だけ歩道を車が通過する状況。高速からくる車が停止をしてくれている状況も見られる。何か起きる前に対策を立てていく。
- 委員
 - ・ 自転車通学の生徒は昭和1年度を通らせて、双葉荘のところに出てくればいいのかと考えるがいかがか。出勤等の際、真室川地区の方が昭和1年度を通っていると聞くと交通事故にあわないかと心配していると地域の保護者の方から話を聞いた。
- 委員
 - ・ スクールバスに乗せる方法もあるのでは？児童生徒数も減ってくるので、可能ではないか。
- 校長
 - ・ 部活動だけでなく、普段の生活でも利用することがある。早く手立てが必要ではと考えている。
- 委員
 - ・ 実際、雪が解けてから見えてくることがあると思われる。新庄鮭川線より新庄真室川線の方が危険度は高いので早期に何らかの対応が必要と考える。
- 校長
 - ・ 明倫学園も同じ状況なので対策を一緒に考え、同じ動きをとっていければと考える。

5 連絡等

- (1) 第4回協議会について
 - ・ 日時：令和5年3月2日（木）
 - ・ 場所：萩野学園会議室
 - ・ 案内は2月中旬に発送する予定でいる。
- (2) その他
 - ・ 学校運営評価シートについて